



# 香りのあるまちづくり

## 豊かさや安心感のもてるまちに

# 平成8年度がスタート

四月一日は市制記念日です。平塚市は、昭和七年に市制を施行してから六十四年目を迎えました。市では現在、市民ニーズをよく把握した行政、時代の変化に耐え得る、また時代を大きく先取りした行政を主眼に、柔軟な発想をもってその運営に努め「湘南平塚 香りのあるまちづくり」に邁進しています。そこで、新しい年度を迎えるにあたり、平成八年度の施政方針の概要を紹介いたします。市民のみなさんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

二十一世紀を間近に控えた今日、平塚市では低迷する経済情勢から市税収入の伸びの鈍化や競争事業収入の減少などにより、厳しい財政運営を余儀なくされています。

そのような状況のなか、市民のみなさんのご理解・ご協力により、昨年は国体のテニスコートや東豊田工業団地などの懸案事項の方向付けをすることができました。また、拠点基地への分散備蓄などの防災対策をはじめとして、小児医療費の助成制度、土・日曜日におけるM・Nビルでの各種証明窓口の開設などの施策を実施することができました。

平成八年度は、引き続き厳しい経済状況にありますが、湘南の中核都市として市民が希望と誇りを持ち、豊かさや安心感のもてる「まちづくり」を進めていきます。また、厳しい財政事情や急速な諸情勢の変化を踏まえ、策定以来八年を経過している「新平塚市総合計画」については、市民ニーズの的確な把握に努めながらその見直しを進めていきます。

さらに、昨年末に「第二次平塚市行政改革大綱」を策定しましたが、この大綱に基づいて具体的な実施計画を策定し、行政改革に取り組んでいきます。また、地方分権の理念のもと、自主的で創造的な地域づくりと、個性と多様性に富んだ市民生活を実現するため邁進してまいります。

◆大地震にも揺るがないまちづくりを  
昨年から見直しを行っている防災対策をさらに検討するとともに、市民全員がそれぞれの地域や組織の中で自らの成し得る役割を果たし、自らの生命や財産は自らが守る「自主防災」意識の高揚に努め、「大地震にも揺るがないまちづくり」を進めていきます。

◆町内福祉村の研究を  
地域社会において、お互いが支え合う生活支援の仕組みを構築するため「町内福祉村」の研究を進めます。また、南部福祉会館(仮称)と万田デイサービスセン

### 施策のポイント

ター(仮称)がこの五月に完成するのを機に、多様な福祉サービスを提供し、高齢者が安心していきいきと暮らせる施策の充実に努めます。

### ◆次代を担う子供たちの育成を支援

保育ニーズの変化にこたえ、新たに開設時間を延長する保育所に対し運営費を助成します。また、幼児教育では、幼稚園保育料の父母の負担の軽減を図るため、新たに四歳児の就園奨励費の助成措置を講じます。さらに、留守家庭児童の健全育成を図るため、小学生を対象とした学童保育設置成事業補助金について補助負担率の見直しを行っています。  
※新年度予算の内容については、広報ひらつか四月十五日号で紹介いたします。

# 友好都市

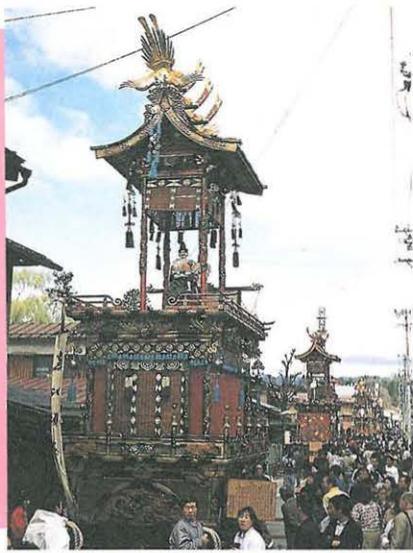
## 高山市 飛驒の小京都



「飛驒の小京都」とも呼ばれる高山市は、岐阜県の山間部に位置する美しい自然と古い歴史はくまなく残っています。

江戸時代に商人町として発達した古いまちのみならず、新鮮な野菜や果物、花などの店が並ぶ「朝市」も健在です。また、高山陣屋や飛

弾国分寺などの史跡、合掌づくりの民家を集めた飛驒民俗村などもあり、四季を通じてたくさんの方の観光客を集めています。



高山まつり(毎年二回、春の4月14日〜15日と秋の10月9日〜10日に行われる)



四季折々の楽しみがある「朝市」

## 花巻市

宮沢賢治のふるさと



露された花巻

平塚市は、昭和五十七年十月に市制五十周年を記念して高山市と友好都市提携を結びました。

以来、平塚市からは毎年高山まつりの時期に合わせてた市民ツアーが、高山市からは七夕まつりに合わせた市民ツアーが実施され、まつりの見学だけでなく両市民の交流会なども行われています。

### 平塚市との交流は...



小学生のホームステイ(高山の子供たちと一緒に高山市内のスキー場で)

高山市への市民ツアー(飛驒の里での記念撮影)



# 論

## 友好都市

## 姉妹都市

## 市民休養の郷

# の紹介

平塚市は、岐阜県高山市、岩手県花巻市との間で「友好都市」提携を、また静岡県天城湯ヶ島町との間で「平塚市民休養の郷」の提携を、さらに平成2年にはアメリカ合衆国カンザス州ローレンス市と「姉妹都市」の提携を結び、それぞれのまちとの間で文化・教育・産業など幅広い分野にわたり交流を進めています。そこで、それぞれのまちの概要について改めて紹介するとともに、年々盛んになってきている市民相互の親善交流の状況についてお知らせします。

# 姉妹都市

## ローレンス市 カンザス大学を中心とした 学園都市



ローレンス市は、アメリカ合衆国カンザス州の北東部に位置する人口約六万六千人のカンザス大学を

中心とした学園都市です。カンザス大学が開設されたのは、まちが開かれて十二年後の一八六六年。以来

ローレンス市とカンザス大学はともに発展を続けてきました。美術館や博物館などの教育文化施設が数多くあり、人口十万人以下の都市としては全米屈指の整備状況といわれています。



ローレンス市のまちなみ



提携五周年記念の桜の木の植樹(ローレンス市にて)



ローレンス市青少年の平塚訪問

## 国際交流協会 市民のボランティアで組織



### フランス・オプ・ローレンスを設置

市民のみならず民間の団体、大学や企業など、地域レベルでの幅広い国際交流事業を市民のみならずの手で推進していただくよう平成六年四月に設立された平塚市国際交流協会。

この協会は、市民のみならずのボランティアで組織されています。組織は、編集、通訳・翻訳、催し物、日本語、ホームステイの五つの部に分かれ、ローレンス市をはじめ諸外国との連携を深める事業や、外国籍の市民のみならずとの交流事業などを企画・運営し

ローレンス市との姉妹都市提携の趣旨に基づき、両市民間の交流事業を計画・実行することを目的に、国際交流協会の一組織として「フランス・オプ・ローレンス」が設置されました。今後は、今年十月に計画

の団体・法人です。協会が発足して二年になりますが、これから組織も事業もより幅広く、深く充実させていかなければなりません。み

### 平塚市との交流は...

平塚市とローレンス市は平成二年九月、姉妹都市提携の調印を行いました。その後、両市の間では青少年の派遣と受け入れ、カンザ

提携五周年を迎えた昨年には、平塚市から市長をはじめとする公式の訪問団がローレンス市を訪れ記念の桜の木を植樹。これを機に、ローレンス市では日本庭園を整備することになりました。

### カンボジアのお正月

平塚市内に住んでいるカンボジア国籍の市民が中心となって、地域市民との交流を深めるため、「カンボジアのお正月」と題したイベントを開催します。

当日はカンボジア式の正月儀式に始まり、民族料理の昼食の後、伝統芸

して、国際交流のかけ橋となつて活躍してください。会員の年会費は、個人が二千元、団体・法人が一万円です。申し込み用紙は各公民館に置いてありますので、所定の事項を記入し、会費を添えてお申し込みください。

▽申し込み先 平塚市国際

### 国際交流協会 に 登録を

現在、国際交流協会の会員となつて居るのは、百

### 友好都市とのホームステイ交流家庭を募集

市では、友好都市の家庭とホームステイ交流をしていただける家庭を募集しています。

これは平塚市と高山市、および花巻市の児童・生徒にお互いの家庭での生活を通して友情を深め、家族ぐるみの交流をしていただこうと実施しているもので、今回で10回目となります。

ぜひ、ご応募ください。

▷対象 市内にお住まいの小学4年生～中学1年生のお子さんをお持ちで、友好都市の子供を受け入れ、相手都市へお子さんを訪問させることができる家庭。ただし、中学校1年生は花巻市のみ

▷募集数 先着順に20家庭

(高山市7家庭、花巻市13家庭)

▷受け入れ期間 平成8年8月2日～4日の2泊3日

▷訪問期間

・高山市 平成9年1月4日～6日の2泊3日

・花巻市 平成8年8月23日～25日の2泊3日

▷経費 受け入れ時の宿泊に関する費用、訪問時の小遣い、訪問時の交通費(小学生約13,000円、中学生約26,000円)

▷申し込み先 交流親善課

### 災害時の相互応援協定を

阪神・淡路大震災の教訓を生かし、市では友好都市提携を結んでいる高山市、花巻市と地震などの災害時に協力する「災害時相互応援協定」を締結しました。

主な内容は、①食料や飲料水など生活必需品の提供、②被災者の救出や医療などに必要な資機材の提供、③職員の派遣、④ボランティアのあっせん、⑤児童・生徒の受け入れ、などです。



花巻まつり(毎年9月5日～7日に開催、400年を超える歴史がある)

宮沢賢治記念館



岩手県のほぼ中央に位置する花巻市は、北上山地と奥羽山脈に抱かれ、北上川や豊沢川が流れる詩情豊かな田園都市です。  
宮沢賢治の生地として、また高村光太郎が晩年を過ごした土地として数多くのゆかりの史跡があるほか、年間二百万人以上の観光客を集める温泉のまちとしても知られています。  
また、今年には宮沢賢治誕百年を記念して、七月から九月にかけて「賢治百年祭」が開催され、宮沢賢治童話村を会場にした「童話村フェスティバル」など、さまざまなイベントが繰り広げられます。

### 平塚市との交流は...

平塚市は市制五十周年を記念して、昭和五十七年に花巻市と市民休養の郷の提携を結びました。その後、花巻市が昭和五十九年に市制三十周年を迎えたのを機に、友好都市の提携

を結びました。平塚市からは、毎年九月五日から七日に開催される花巻まつりに合わせ、勇壮な鹿踊りや華麗な風流山車を見学する市民ツアーが行われています。また、小・中学生のホームステイ交流や中学生のサッカーク交流のほか、花巻市からは平塚市で行われる七夕まつりや産業まつりなどの会場で、郷土芸能や観光の紹介・土産の販売などが行われています。

### 産業まつりでの観光の紹介と土産の販売



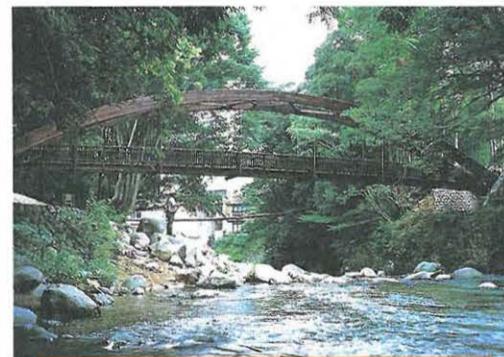
七夕まつりで市の郷土芸能

# 広がる交流の町



### ひらつか天城山荘のご利用を

さまざまなスポーツや露天風呂などが楽しめる「ひらつか天城山荘」。客室は全部で十二室、定員は六十八人です。  
ぜひ、ご利用ください。  
◇ひらつか天城山荘  
〒410-32 静岡県田方郡天城湯ヶ島町上船原一〇〇一  
☎0558(87)1050  
▽ご利用方法  
・直接同山荘へ電話でお申し込みください  
・平塚市民の予約は6か月前(一般は4か月前)の1日から受け付けます  
・宿泊料金は平塚市民の方は大人1泊2食四千九百二十五円、小・中学生同四千四百五十円から



猫越川にかかる「出会い橋・女橋」

伊豆半島の中央部、雄大な天城連山に抱かれた渓流沿いの森と湯のまち。それが天城湯ヶ島町です。狩野川の清流と明るい陽光は多くの文学者を引きつけ、川端康成の「伊豆の踊り子」や井上靖の「しろばんば」など数多くの名作を生み出しました。天城湯ヶ島町には数多くの名湯がありますが、最近ではその昔共同湯に通う道であった「湯道」が整備され、散策路に生まれ変わりました。この「湯道」沿いの清流には、「出会い橋」

天城湯ヶ島町  
天城連山に抱かれた森と湯の国

## 市民休養の郷

### 平塚市との交流は...

平塚市は昭和五十七年、市制五十周年を記念して天城湯ヶ島町との間で市民休養の郷の提携をしました。

そのほかにも、毎年八月にひらつか天城山荘前の広場で行われる「天城七夕まつり」には平塚市からもたくさんの市民のみなさんが訪れ、「七夕音頭」の流れの中、平塚市民と天城湯ヶ島町の人々との交流が図られています。



天城七夕まつり

以後、同町上船原地区にある「天城ふるさと広場」には「ひらつか天城山荘」とキャンプ場、体育館が平塚市により、また、多目的グラウンドやテニスコート、野球場などが天城湯ヶ島町により整備されています。このキャンプ場は、毎年平塚市の小・中学校の林間学校などに利用されています。

お問い合わせは交流親善課へ  
●住所 平塚市浅間町9番1号  
●電話 23-1111 内線597  
●FAX 23-9467

ています。 九十五人の個人と、二十三 さんとも、せひ会員に登録 交流協会(交流親善課内)

# みなさんが主役です

## 「広報ひらつか」紙面一新



切に、「湘南」の香りの漂う紙面に。そのため、市民のみなさんの登場するコーナーをボリュームアップしました。小さな街角でさえ「ひらつか」には「ひらつか」の表情があります。その輝いた表情をとらえた写真を大きくカラーで掲載し、読みやすく、わかりやすい情報を市民のみなさんにお伝えします。



市民のみなさんがもつと登場する紙面づくりを目指し、四月十五日号から「広報ひらつか」の紙面を一新します。

ひらつかの街角、イベントなどでみなさんの生き生きとした笑顔をキャッチして、お茶の間にお届けします。

紙面改訂により、表紙面と最終面がカラー刷りとなり、みなさんに長年親しんでいただいた「ひらつか」も変更します。また「ひらつか」らしいイメージを大

### 広報ひらつか

どこが変わるの？

題字が変わります

広報ひらつか タイトルコンセプト

人々が、そしてまちが潤う豊かな平塚市を、水のようなゆったりとした文字で表現しました。明るい海の青と豊かな緑が、「ひらつか」を包みます。

### 見やすく、わかりやすく

一面と最終面がカラーに

今までのモノトーンの配色からカラーに写真を変えることで、四季折々に姿を変える湘南の都市「ひらつか」の表情をイベントを追いかけながら、市民のみなさんの表情とともに紹介していきます。

### 市民参加のコーナーがもりだくさん

市民のみなさんが登場する機会と回数を増やすため、写真のコーナー、投稿ものやサークル掲示板、不用品登録情報など市民のみなさんの情報を、彩りもきれいなカラー面に集中し、充実させます。

### わかりやすく情報をまとめました

一日号の二・三面に、お知らせ・イベント情報・生活情報・スポーツ情報などを集約させるとともに、十五日号の四・五面に健康・市民・教育などの相談をまとめ、充実させます。

なお、十五日号には継続して市民のみなさんに行行政策を読んで考えていただく特集記事を掲載していきます。

パワーアップした「広報ひらつか」を毎月一日と十五日（四月十五日は新聞休刊日のため十六日）の朝に新聞に折り込みますので、楽しみにお待ちください。

### この腕章が目印

イラストのような広報の腕章が取材の目印となります。

機動力を生かして積極的に撮影していきたいと思っておりますので、ぜひご協力ください。笑っている顔、泣いている顔、すまして顔、真剣な顔など、多くの方の素敵な表情をファインダーに収めたいと思います。

### 赤ちゃんのステージ

赤ちゃんのステージが大きく変わります。今回から一日号のみの掲載となり、一回に六人掲載する予定です。カラー面の掲載になりますので、カラー写真（サービス判）をお送りください（対象は1歳未満）。

※応募はいつでも封書にカラー写真を同封し、住所、氏名、性別、年齢、電話番号、コメント（わが家のナイスショット）、赤ちゃんの氏名・生年月日（赤ちゃんのステージ）を記入のうえ、平塚市広報広聴課「〇〇〇〇」係（〒254平塚市浅間町9-11・☎23-11111内線315）へ。

写真の裏に赤ちゃんの氏名を

### 新鮮な写真を

新しいコーナーが2つスタートします。奮ってご応募ください。

### わが家のナイスショット

わが家自慢の決定的瞬間をとらえた写真をお待ちしています（写真のコメントも忘れずに）。特にお子さんの写真は大歓迎です。

お気軽にご応募ください。